

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立少林寺小学校
校長 古川 結美子

中学校区におけるめざす子ども像

ちがいをみとめ、ともに生き、将来の夢と希望に向けて自ら学び続ける子

令和8年度 重点目標

- ・「授業改善の推進」「教育課程の充実」「家庭学習習慣の形成」を相互的に連動させて、こどもの「主体的に学習に取り組む態度」を養い、「自ら考え、実行し、仲間と共に学びを深め合うこども」を育て、総合的な学力の向上を図る。
- ・「よりよい学級集団」を形成するために、担任とこどもが信頼関係でつながり、こども間をつなげる取り組みを行う。こどもの人間関係づくりによって、自尊心の向上と「自律」と「自立」の精神を育む。
- ・「在日外国人教育・国際理解教育」「キャリア教育」を総合的な学習の時間や特別活動を中心に教科横断的に取り組む。系統立てた教育課程を構築し、いじめやあらゆる差別を許さない人権尊重の精神を養うとともに社会の中で生きていくために必要な能力や態度を育む。
- ・特別支援教育を推進し、「困り感」のある児童の早期発見に努め、障がいの状況に応じた指導を充実させる。
- ・陵西学校群教育目標具現化に向け、人権教育・キャリア教育を中心とした小中一貫教育体制の推進を図る。

「確かな学び」の現状

こどもたちはのびのびと自分を表現し、わかりやすい教材や授業の導入で具体物があると興味をもち取り組もうとする姿が見られ、学力向上の成果もみられた。しかし、基礎基本の学力の定着の差が大きく、自分の思いを適切な言語で表現することが難しく、困難そうな課題に対して取り組む前から抵抗を示し、粘り強く考え、意欲を持ち取り組むことができない等、課題がみられる。今年度も授業改善を中心に、学力向上の基盤となる「書く力」「話す力」「読む力」の向上を目標にすべての教科において「主体的に学びに向かう力」、「他者との対話を通して学ぶ力」「粘り強く取り組み、よりよい解決に向かおうとする力」の3つのつきたい力に取り組む。また、小規模校の特性を生かし、個に応じたきめ細やかな指導による基礎・基本の定着と、課題に対して自分の意見を持つことできるように授業改善を図るとともに、「少林寺っ子ノート」を有効活用することで家庭学習の定着化にも取り組んでいきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

本校は小規模校であり、すべての学年が単学級である。小学校生活の中で一度もクラス替えがないことから、人間関係の固定化という課題がある。そのため、人間関係が崩れると回復に時間がかかるという課題がある。そこで重点目標の一つに「こどもたちの横と縦による人間関係づくり」を掲げ、固定化されがちな人間関係を逆に強い絆として生かし、学級活動や児童会活動、縦割り活動の活性化を通して、こどもの自己有用感を高め、自身の考えや行動に責任を持たせたい。また、小規模校の特性を生かした「縦割り活動」に年間を通して取り組み、異学年交流の常時化をめざす。また、よりよい学級、よりよい学校づくりに児童が自分たちで考え、活動することにより、自治の精神と主体的な行動力を身につけさせたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
総合的な学力の向上		基礎的な知識・技能の習得を図る。	●・朝学(わくわくタイム)や家庭学習で、漢字や計算の反復練習で基礎学力の充実を図る。	課題定着確認プリントにおける正答率	・課題定着確認プリント結果	2月			
			・「少林寺っ子ノート(自主学習ノート)」による家庭学習習慣づくりを行い、主体的な学びを総合的に進める。	・家庭学習ノートの提出率75% ・学校教育アンケート(児童)における肯定的な回答75%	・実施状況 ・アンケート結果	2月			
			・教科を問わず、児童一人一台のパソコンを有効活用し、児童が興味を持って取り組む授業の実践を行う。	・校内研究授業 ・日常の授業の内容	・研究授業 ・授業観察	2月			
			★●陵西中学校校区にて共通の漢字・計算陵西検定を実施する。(年3回)	・プレテストの実施 ・本テストの実施	・検定結果 ・記録証	2月			
確かな学び	授業改善	授業改善を行い、主体的に学習に取り組む態度を育成する。	・すべての教科において主体的な学びによる授業改善を進め、すべての学習の基盤となる書く力や読み取る力の向上をめざす。	・校内研究授業 ・日常の授業内容 ・児童のノートの内容	・研究授業 ・授業観察 ・学力向上アドバイザーによる評価	2月			
			・児童が「自分で考える」「グループで意見を出し合う」「学級全体で意見交流をする」ことを通して、自分たちで課題解決をする授業の実践を行う。	・校内研究授業 ・日常の授業の内容	・研究授業 ・授業観察 ・学力向上アドバイザーによる評価	2月			

豊かな心の育成	豊かな心の育成	心の教育の充実を図る。	・道徳の授業をはじめ、すべての教科を通して豊かな心（高い規範意識・豊かな人権感覚・人を愛する心・思いやりの気持ち・命の大切さ等）の教育実践に取り組む。	・人権教育・道徳教育の年間計画に基づいた指導 ・学校教育アンケート（保護者）における肯定的な回答90%	・アンケート結果	2月					
			●クラスづくりとたてわり活動を通して横と縦の人間関係づくりに取り組み、こどもの自己有用感を高め、考えや行動に自信と責任を持てるようにする。 ●毎日の登下校時におけるあいさつを通して、コミュニケーションの基礎を培う。	・月1回縦割り活動を実施 ・年間を通したあいさつ指導の実施 ・毎日の登下校時の様子 ・学校教育アンケート（保護者）における肯定的な回答95%	・実施状況 ・アンケート結果	2月					
		ウエルビーイングの実現を図る。	●「キャリア教育」「地域的行事」「多文化クラス」等の参加により保護者や地域や社会、国際的なつながりをもつ教育の推進に取り組む。	・月1回縦割り活動の実施 ・地域行事への参加の様子	・実施状況	2月					
きめ細やかな生徒指導	きめ細やかな生徒指導	子どもの理解を深め、家庭や専門機関との連携を図り、きめ細やかな生徒指導を推進する。	・「いじめアンケート」や「心の健康観察」「生活習慣チェック」を通して児童の実態把握を行い、家庭と連携しながら、いじめや問題行動の未然防止、早期対応に努め、児童に寄り添った生徒指導の充実を図る。	・児童の良好な人間関係の確立 ・生活習慣の改善 ・校内研修会の実施・成果	・実施状況	2月					
			●特別な支援を要する児童の指導にあたっては、学校全体で支援体制を構築する。発達障害理解研修を行い、特別支援教育の充実を図る。	・子ども支援委員会 ・ケース会議 ・校内研修会の実施・成果	・実施状況	2月					
人権教育・在日外国人教育	人権教育	人権尊重に根ざした教育の推進を図る。	・総合的な学習の時間や特別活動およびトラダタイムなどの学校行事等のさまざまな場面を通して、国際理解・多文化共生教育を推進し、人の痛みを分かろうとする気持ちを大切に、いじめや差別を許さない人権尊重の精神を育む。	・多文化共生教育の推進 ・学校教育アンケート（保護者）における記述	・実施状況 ・アンケート結果	2月					
			★陵西学校群において「人権教育」「キャリア教育」を推進し、中学校区の教職員連携を浸透させ、これまでの実践を大切にしながら地域の実態に学び、教職員・児童の交流を深める。	・中学校区における公開授業 ・4校交流会の実施	・実施状況	実施時期					

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）